

2008年につけい子育て支援大賞受賞！

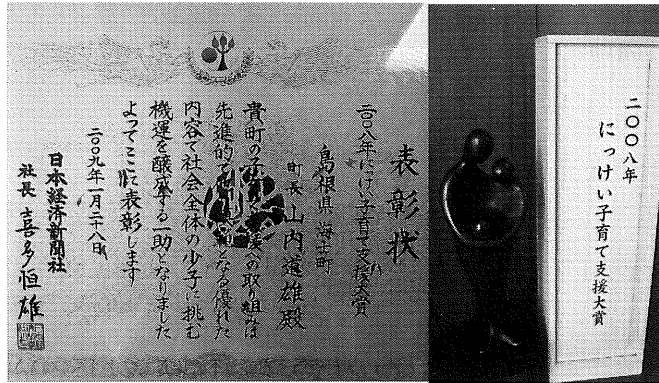
子育て支援による出生数増加



日経新聞喜多社長から表彰を受ける山内町長

日本経済新聞社が主催する「2008年につけい子育て支援大賞」に自治体部門で海士町が選定されました。この大賞は2006年に設立され、仕事と子育ての両立の重要性が高まってきている現代、だけれども安心して子育てができ、働きやすく暮らしやすい社会を目指し、ひいては経済社会に活力を与えることを目的としているものです。

この賞は、地方自治体、民間団体、住民グループの中から子育てしやすい社会づくりに貢献した企業・団体に贈られるものです。本町の取り組み



みは、2004年から実施した町長はじめ議員、職員らの報酬および給与をカットした資金を子育て支援（結婚、出産祝い金、出産に関する経費一部負担）に活用した取り組みが出生数の増加に影響を与えたことが認められたものです。1月28日には東京（千代田区パレスホテル）で授賞式があり、山内町長が出席し喜多恒雄社長から賞状とコメントを受け取りました。

防災の決意新たに

海士町消防団出初式

平成21年海士町消防団出初め式が、1月6日隠岐島前高校体育館において行われました。

消防団員85名が結集し、今年一年の防災の決意を新たにしました。

式典では山内町長から、「住民の皆様方の生命財産を守ることはもとより、安全で快適なまちづくりを目指し、行政と一体となった地域ぐるみの消防体制の確立が重要である」とあいさつがあり、また、金谷消防団長は、「地域住民の生命と財産を守るため、誇り



と自信を持ち、住民から信頼される消防活動に取り組んでほしい」と訓辞されました。また、永年消防活動に功績のあった団員に表彰状が贈られました。

表彰を受けられた方々は次のとおりです。

○海士町消防団長表彰

(精勤章)

5年勤続

木綿 浩二

宇野 将之

濱崎 浩二

中村 誠

島根 和彦

久保 孝仁

志立 英一

松田 修一

渡邊祐一郎

10年勤続

新谷 隆浩

村尾 清

磯谷 光司

山中 幸範

15年勤続

前田 三幸

藤田 幸正

熊本 浩

山岡 真幸

渡邊 裕之

20年勤続

藤井 健

川本 保洋

25年勤続

水上 紀之

○海士町長表彰

(勤続章)

"

"

"

"

○島前消防協会長表彰

(勤続章)

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

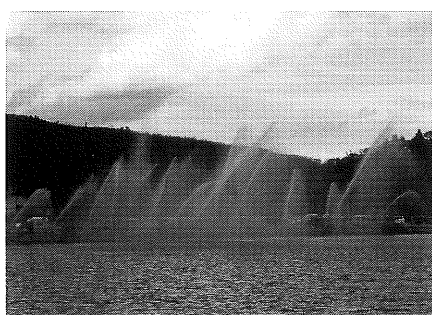
"

"

"

"

"



式典後には、菱浦港（キンニャモニヤセンター横）において一斉放水が行われました。

第38回 立春式

夢と希望

そして自立への道

2月7日、隠岐開発総合センターにおいて立春式がおこなわれました。

この立春式は、人生の節目として14歳（昔の元服の年に当たる年）になった少年の自覚を促し成長を願う、まちを挙げての行事として今年で38回目を迎えました。

今年立春式を迎えたのは、海士中学校の2年生18名（男子9人女子9人）です。

式典は、保護者や来賓の見守る中、山内町長から「この立春式を契機に自分に何かを決意すること、それが『立志』の芽生えとなり、そして『自覚』『立志』を支えるものは『健康』である。何ごとに取り組みにも健康な心と体をつくり積極的に心身の鍛練に努めてほしい。」と式辞がありました。

生徒を代表して誓いの言葉を述べる

その後、生徒を代表して熊本大樹くんが『立春式を迎え、これから何事にもチャレンジしていくこと。そして今まで海士町を創りあげてきた方々に恥ないように力強く生きていきたい。』と誓いの言葉を述べました。

式典後の少年の主張では、代表

の5名が将来に向けての新たな決意を発表、一人ひとりが今の自分をみつめながら将来を考える姿勢には保護者の方々も頼もしさを感じたのではないのでしょうか。

また、平成19年に海士中学校に出前授業の講師として来島されたご縁をきっかけに、昨年からは第4次海士町総合振興計画のアドバイザーとして関わっていただいている西上ありささんから『ひとり立ち』をテーマに、自らの体験や学生時代に学んだこと、現在取り組んでいる仕事を通して、ひとり立ちすることというのはどういうことなのかをお話いただきました。

その中で、「この立春式は大人（集団）の仲間入りをすることを地域社会に披露し認めもらうことである。何ごとにも課題をみつけないで、そのニーズに応え素直に行動すること、そしてひとつのことを続けることが最も重要である。また、年代に応じた課題、つまり10代、20代、30代等々、今、自分に何が出来るのか常に考えながら大人の仲間入り

をしてほしい。」と激励の言葉をいただきました。

この立春式は彼らにとって夢と希望に膨らむ新たなスタートとなりました。

最後に生徒から列席した保護者や来賓に感謝の歌を披露し厳粛の中にも和やかに式を終えることができました。

そしてまた、将来の自分へのメッセージとして一人ひとりが陶板に思いを刻みましたこの陶板は、この後乾燥させ釜で焼く作業に入ります。春までには完成し、菱浦の交流施設付近に展示されますのでぜひご覧下さい。

立春式を迎えた18名が健やかに成長するようみんなが温かく見守りたいものです。



将来の自分へのメッセージに思いを馳せる生徒

未来に届け

少年の主張！



宇野誓華さん



中村優花さん



沼田菜那さん



田口 啓くん